

# iR宛先表編集ツール 操作説明書

iR宛先表編集ツールは、iRシリーズから書き出した宛先表や、CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルを開いて、編集し、iRシリーズ用の宛先表ファイルとして保存するソフトウェアです。

もくじ  
索引  
必要な環境  
iRシリーズの機種  
インストール  
説明書・ヘルプの使い方  
起動  
終了  
設定 設定 宛先のデフォルト設定

**Canon**

↓見たい部分をクリックしてください。

## ① 開いて、

新規作成する

ファイルを開く

iR専用アドレスブックファイル  
CSVファイル(表計算データ)  
Windowsアドレス帳ファイル

ファイルを開くときのエラー

機種による入力項目の違い

## ② 編集して、

画面・メニュー

新しい宛先を追加する

宛先を編集(変更)する

宛先を削除する

新しいグループ・個人を追加する

他のファイルから読み込む(追加インポート)

iR専用アドレスブックファイル  
CSVファイル(表計算データ)  
Windowsアドレス帳ファイル

ファイルを開くときのエラー

機種による入力項目の違い

検索・置換

他のファイルからコピー・貼り付けする

## ③ 保存する。 iR専用アドレスブックファイル

終了する

困ったときは

メッセージ一覧

## もくじ

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 必要な環境・iRシリーズの機種             | 3  |
| 必要な環境                       | 3  |
| iR宛先表編集ツールで宛先表を編集できる        |    |
| iRシリーズの機種                   | 3  |
| iRシリーズの機種による違い              | 4  |
| インストールする・アンインストールする         | 5  |
| インストールする                    | 5  |
| アンインストールする(iR宛先表編集ツールを削除する) | 5  |
| この説明書の使い方・ヘルプの使い方           | 6  |
| この説明書の使い方                   | 6  |
| ヘルプの使い方                     | 6  |
| 起動する・終了する                   | 7  |
| 起動する                        | 7  |
| 終了する                        | 7  |
| 画面・メニュー                     | 8  |
| メニュー                        | 8  |
| 選択項目や入力項目をあらかじめ設定しておく       | 9  |
| 標準機種選択                      | 9  |
| 宛先の標準設定                     | 10 |

## ①開く 11

|                  |    |
|------------------|----|
| 新しい空の宛先表を新規作成する  | 12 |
| ファイルを開く          | 13 |
| Windowsアドレス帳の    |    |
| [標準以外の電子メールアドレス] | 15 |
| ファイルを開くときのエラー    | 16 |

## 【商標について】

- Microsoft、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Canon、iRはキヤノン株式会社の商標です。
- 本製品は、VS-FlexGrid Proを使用しています。VS-FlexGrid Proの著作権は、VideoSoft Corporationに帰属します。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

## 【呼称について】

Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版をWindows 98と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版をWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows® NT operating system日本語版をWindows NTと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版をWindows 2000と表記しています。

Microsoft® Windows® XP operating system日本語版をWindows XPと表記しています。

Microsoft® Windows® operating system日本語版をWindowsと表記しています。

|               |    |
|---------------|----|
| 取り込み結果のログファイル | 16 |
| 取り込み結果の画面     | 16 |

## ②編集する 17

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 宛先の表示を切り替える              | 18 |
| 新しい宛先を追加する               | 19 |
| 新しいグループ・個人を追加する          | 20 |
| 宛先を編集(変更)する              | 21 |
| 宛先表画面のセルで編集(変更)する        | 21 |
| 宛先の入力・編集画面で編集(変更)する      | 21 |
| 宛先の入力・編集画面               | 22 |
| 宛先を削除する                  | 26 |
| 他のファイルから宛先を読み込む(追加インポート) | 27 |
| 他のファイルからコピー・貼り付けする       | 29 |
| 検索と置換                    | 30 |
| 検索                       | 30 |
| 置換                       | 30 |

## ③保存する 31

|         |    |
|---------|----|
| 保存する    | 32 |
| 困ったときは  | 33 |
| メッセージ一覧 | 34 |
| 索引      | 36 |

# 必要な環境・iRシリーズの機種

## 必要な環境

iR宛先表編集ツールをインストールして使うためには、つぎの環境が必要です。

---

**ハードウェア** IBM PC 機、または、その互換機  
 Pentium II 以上のプロセッサ  
 32MB以上(64MB以上を推奨)のメモリ  
 800×600ドット以上(1024×768ドット以上を推奨)、  
 256色以上のディスプレイ  
 100MB 以上の空き容量のあるハードディスク

---

**OS** Windows 98 日本語版  
 Windows Me 日本語版  
 Windows NT 4.0 日本語版(Service Pack6a以降)  
 Windows 2000 日本語版(Service Pack2以降)  
 Windows XP 日本語版

---

Internet Explorer 5.5 SP2以降がインストールされていること

---

## iR宛先表編集ツールで宛先表を編集できる iRシリーズの機種

iR宛先表編集ツールは、iRシリーズのうち、つぎの機種の宛先表の編集、保存ができます。

iRC6800、iRC3200、iRC3100、iRC5800、iRC3220、iRC2620、  
 iR4570、iR3570、iR2870、iR2270、  
 iR105i、iR8570N、iR7270N、  
 iR2250i、iR2850i、iR3350i、iR2200i、iR2800i、iR3300i、  
 iR5150i、iR6050i、  
 iR7200、iR8500、iR105、  
 iR2210、iR2810、iR3310、iR2200、iR2800、iR3300、  
 iR2200M、iR2800M、iR3300M、iR2200D、iR2800D、iR3300D、  
 iR6000i、iR5000i、  
 iR3250、iR3250i、  
 iR2000、iR1600、iR1500、iR2010、iR1610

## iRシリーズの機種による違い

宛先の種類や入力項目の桁数などは、iRシリーズの機種によって異なります。

これらの違いは、『iRシリーズの機種による違い』(PDFファイル名「機種差一覧.pdf」)をご覧ください。

このページをクリックすると、『iRシリーズの機種による違い』が開きます。

# インストールする・アンインストールする

## インストールする

つぎのように操作して、iR宛先表編集ツールをインストールすると、iR宛先表編集ツールを使えるようになります。

- 1** Windowsを起動します。  
Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XPの場合は、管理者の権限を持つユーザでログインしてください。
- 2** 「iR宛先表編集ツール インストールCD」をCD-ROMドライブにセットします。  
InstallShieldウィザードが起動しないときは、「iR宛先表編集ツール インストールCD」の中の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- 3** 画面に表示されるメッセージにしたがって、インストールしてください。

## アンインストールする(iR宛先表編集ツールを削除する)

iR宛先表編集ツールを削除したいときは、つぎのように操作してください。

- 1** iR宛先表編集ツールを終了します。
- 2** タスクバーの[スタート]ボタンをクリックして、[設定]→[コントロールパネル]の順に選びます。(Windows XPのときは、[スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックします)
- 3** [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。(Windows XPのときは、[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします)
- 4** 表示された画面で、[iR宛先表編集ツール]をクリックして[変更と削除]ボタンか[変更/削除]ボタンをクリックします。
- 5** 表示される指示にしたがって操作します。  
iR宛先表編集ツールを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら[OK]をクリックしてください。
- 6** 削除が完了したというメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

# この説明書の使い方・ヘルプの使い方

## この説明書の使い方

この説明書は、PDFフォーマットのファイルです。Acrobat Readerで見ることができます。Acrobat Readerがインストールされていない場合は、インストールしてください。

**手のひらツール**  
説明書のページ上でドラッグして、表示する部分を動かします。

**ズームインツール**  
左クリックすると拡大、右クリックすると縮小することができます。  
拡大縮小の指定ができます。

**前ページ** **次ページ**  
**最初のページ** **最後のページ**

**プリント**  
この説明書を印刷します。

**検索**  
文字を指定して検索します。

クリックすると下位のしおりが開きます。

クリックするとそのページが表示されます。

**前の画面**  
直前に表示していたページに戻ります。

表紙のこの部分をクリックすると、その項目を説明するページが表示されます。

## ヘルプの使い方

iR宛先表編集ツールには、この説明書以外にオンラインヘルプがあります。オンラインヘルプを表示するには、[iR宛先表編集ツール]画面で、タスクバーの **?** をクリックするか、[ヘルプ]メニューの [iR宛先表編集ツールヘルプ] を選んでください。

また、画面に[ヘルプ]ボタンがあるときは、そのボタンをクリックするとその画面の解説が表示されます。

**目次**  
クリックすると、目次が表示されます。

**ヘルプの目次**  
ダブルクリックすると、詳細な目次が表示されます。

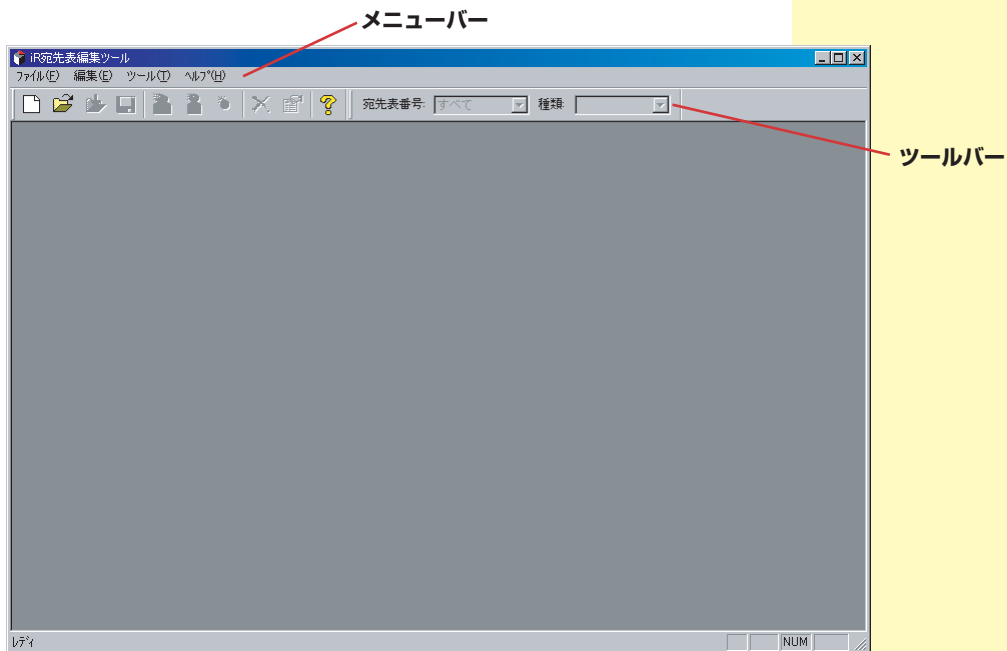
**ヘルプのトピック**  
ダブルクリックすると、そのトピックが表示されます。

**下線がある文字**  
クリックすると、関連があるトピックが表示されます。

# 起動する・終了する

## 起動する

- 1 タスクバーの[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム] (Windows XPのときは[すべてのプログラム])→[Canon iR宛先表編集ツール]→[Canon iR宛先表編集ツール]の順に選びます。  
iR宛先表編集ツールが起動して、[iR宛先表編集ツール]画面が開きます。

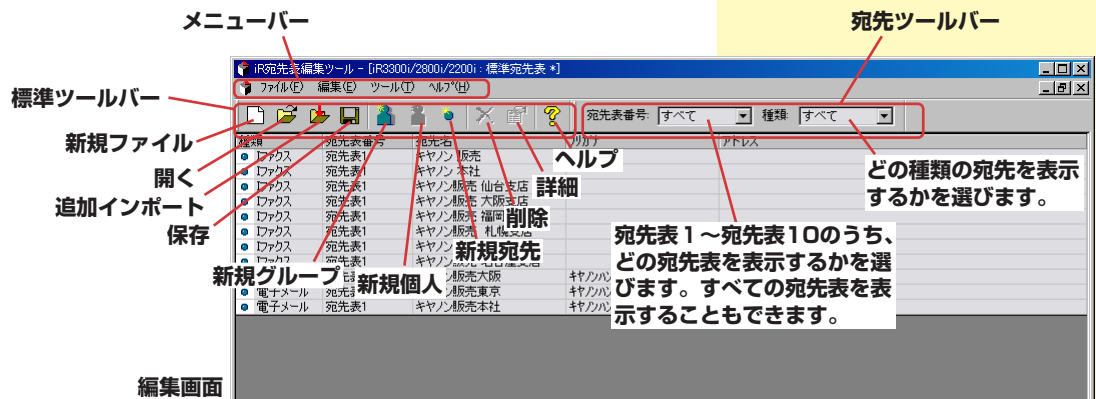


## 終了する

iR宛先表編集ツールを終了したいときは、つぎのように操作します。

- 1 [ファイル]メニューの[終了]を選びます。

## 画面・メニュー



## メニュー

メニューにはつぎの機能があります。

| ファイル(F)              |  |
|----------------------|--|
| 新規作成(N)              | 新規の宛先表を作成します。  |
| 開く(O)                | 既存のファイルを開き、編集画面を表示します。   |
| 閉じる(C)               | 編集中の宛先表を閉じます。  |
| 追加インポート(I)           | 既存のファイルの宛先を、編集中の宛先表に追加します。   |
| 上書き保存(S)             | iR専用アドレスブックファイルに上書き保存します。CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルを開いて、はじめて保存するときは、名前を付けて保存と同じようにiR専用アドレスブックファイルを作成して保存します。 |
| 名前を付けて保存(A)          | iR専用アドレスブックファイルを作成して保存します。   |
| (最近使ったファイル)          | 直前に開いたファイルを4つまで表示します。  |
| 終了(X)                | iR宛先表編集ツールを終了します。  |
| 編集(E)                |  |
| 元に戻す(U)              | 直前に行った文字の編集を元に戻します。  |
| 切り取り(T)              | 編集中の文字を切り取り、クリップボードに記憶します。   |
| コピー(C)               | 編集中の文字をコピーして、クリップボードに記憶します。  |
| 貼り付け(P)              | クリップボードのデータを貼り付けます。  |
| 検索(F)                | [検索] 画面を表示し、検索文字列を編集中の宛先表の中から検索します。  |
| 置換(E)                | [置換] 画面を表示し、検索文字列を編集中の宛先表の中から検索し、置換後の文字列に置き換えます。   |
| ツール(T)               |  |
| ツールバー(B)             | 標準ツールバー(T) 標準ツールバーの表示、非表示を切り替えます。<br>宛先ツールバー(A) 宛先ツールバーの表示、非表示を切り替えます。                                     |
| 新規グループ(G)            | 新しいグループの宛先を作成します。(機種によっては無効になります)  |
| 新規個人(N)              | 新しい個人の宛先を作成します。(機種によっては無効になります)  |
| 新規宛先(A)              | 新しい宛先を作成します。   |
| エラーチェック(C)           | セルで入力や編集を行った項目のチェックを行います。保存したり、エラーチェックを行ってエラーがなくなると選べなくなります。   |
| 標準設定(D)              | 機種選択時、新規宛先作成時のデフォルト設定を行います。  |
| ヘルプ(H)               |  |
| iR宛先表編集<br>ツールヘルプ(H) | ヘルプファイルを表示します。   |
| バージョン情報(A)           | バージョン情報を表示します。   |

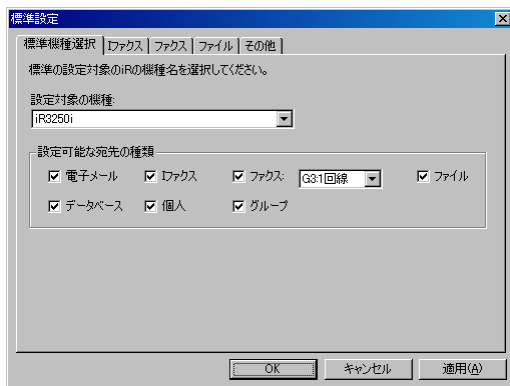
# 選択項目や入力項目をあらかじめ設定しておく

よく使うiRシリーズの機種や、宛先を新規作成するときによく使うiファクスアドレスや定型文などを、あらかじめ設定しておくことができます。これらの設定をしておくと、新規作成したりファイルを開いたりするたびに機種を選んだり、宛先を新規作成するときに項目を全部入力しなくて済みます。

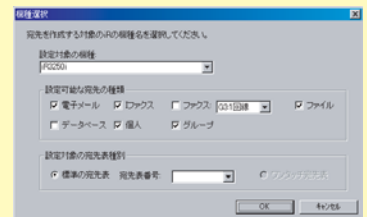
## 標準機種選択

[ツール]メニューの[標準設定]を選びます。

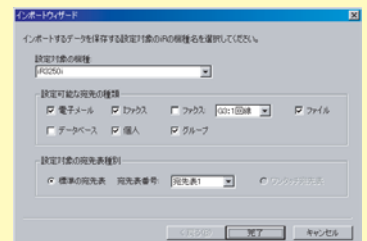
[設定対象の機種]と[設定可能な宛先の種類]を選んで、[OK]をクリックしてください。



[ファイル]メニューの[新規作成]、[開く]の操作をしたとき、[インポートウィザード]画面・[機種選択]画面の[設定対象の機種]と[設定可能な宛先の種類]が、ここで設定した状態で開かれるようになります。



[機種選択]画面([ファイル]メニュー)の[新規作成]を選ぶと開く)



[インポートウィザード]画面([ファイル]メニュー)の[開く]を選ぶと開く)

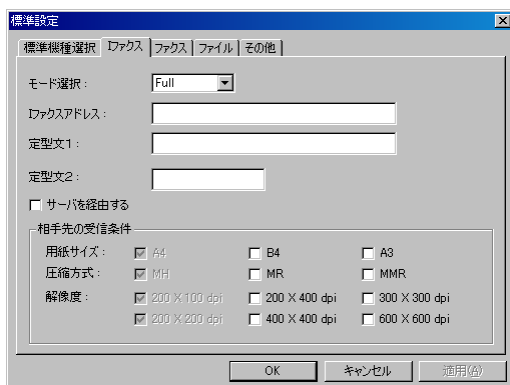
## 宛先の標準設定

宛先を新規作成([ツール]メニューの[新規宛先])するときを開く編集画面の選択項目や入力項目を、あらかじめ設定したり入力しておくことができます。

たとえば、「○○○@canon-sales.co.jp」というメールアドレスの宛先をたくさん登録するときは、ここで「@canon-sales.co.jp」だけ設定しておけば、それぞれの宛先を登録するときに「○○○」の部分だけ入力すれば済みます。

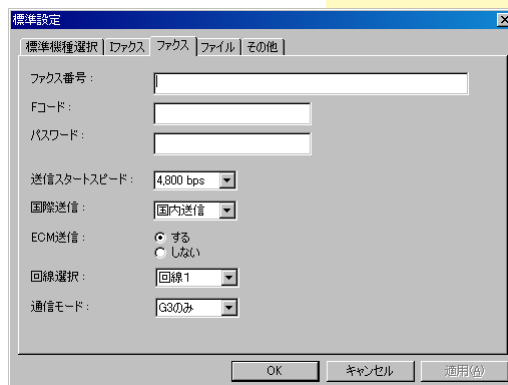
## 1ファクス

[ツール]メニューの[標準設定]を選び、  
[ファクス]タブをクリックします。



## ファクス

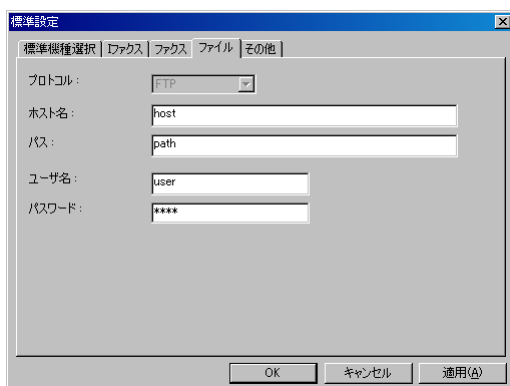
[ツール]メニューの[標準設定]を選び、  
[ファクス]タブをクリックします。



[宛先名]、[フリガナ]、[ワンタッチ名称]、[アクセス番号]は設定できません。

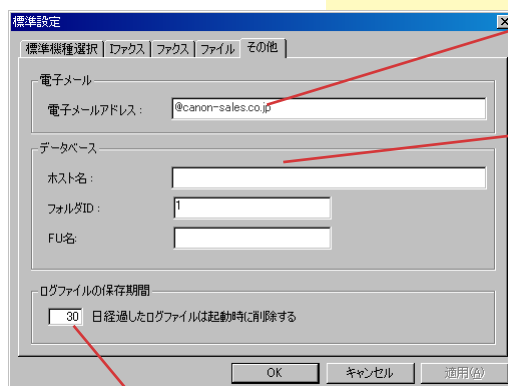
## ファイル

[ツール]メニューの[標準設定]を選び、  
[ファイル]タブをクリックします。



## その他(電子メール・データベース)

[ツール]メニューの[標準設定]を選び、  
[その他]タブをクリックします。



電子メールアドレスを設定します。

データベースの設定をします。**機種**

ログファイルの保存期間を設定します。  
(インストール時には30日間に設定されています)

## ① 開く

iR宛先表編集ツールは、新しい空の宛先表を新規作成するか、iRシリーズから書き出した宛先表、CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルのどれかを開いて、編集することができます。

### ① 開いて、

新規作成する

ファイルを開く

iR専用アドレスブックファイル  
CSVファイル(表計算データ)  
Windowsアドレス帳ファイル

ファイルを開くときのエラー

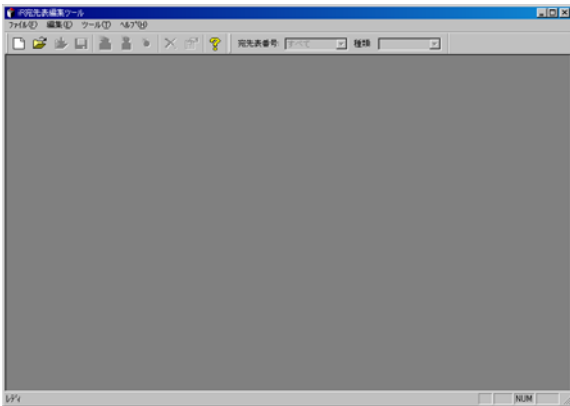
機種による入力項目の違い


# 新しい空の宛先表を新規作成する

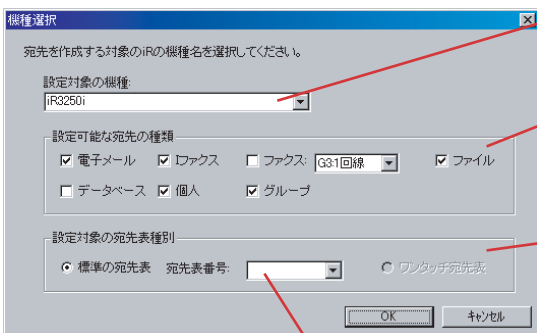
新しい空の宛先表を開いて、宛先を入力、編集することができます。

- 1 iR宛先表編集ツールを起動していないときは、デスクトップの[スタート]メニューをクリックし、[プログラム](Windows XPのときは[すべてのプログラム])→[Canon iR宛先表編集ツール]→[Canon iR宛先表編集ツール]の順に選びます。

[iR宛先表編集ツール]画面が開きます。



- 2 ツールバーの  (新規ファイル) をクリックします。  
(または、[ファイル]メニューの[新規作成]を選びます)



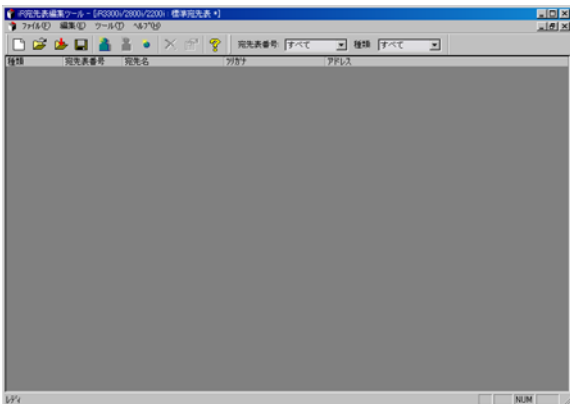
これから編集し保存する宛先表を、どの機種に読み込むかを選びます。

設定したい宛先の種類にチェックマークをつけます。上の欄で選んだ機種で設定できないものは選べません。

これから開いて編集し保存する宛先を、ワンタッチ宛先表に読み込むか、標準の宛先表(ワンタッチ宛先表ではない宛先表)に読み込むかを選びます。上の欄で選んだ機種で設定できない宛先表は選べません。

標準の宛先表を選んだときは、宛先表の番号も選んでください。

- 3 [OK] をクリックします。  
[iR宛先表編集ツール]画面に、空の宛先表が表示されます。



この画面で宛先表を入力、編集します。

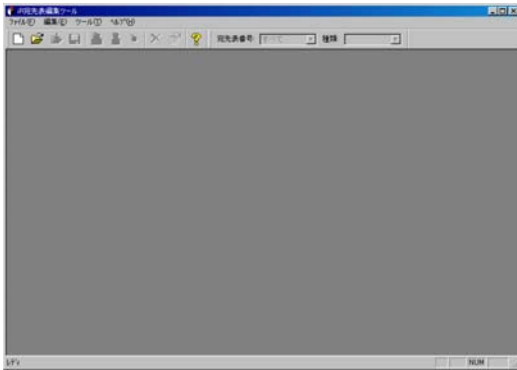
# ファイルを開く


つぎの3種類のファイルを開いて編集することができます。

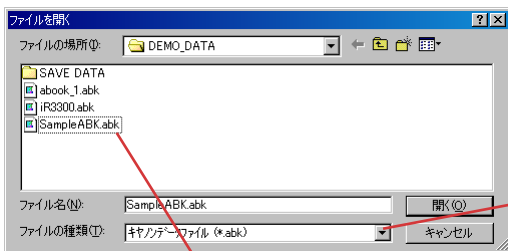
- iR専用アドレスブックファイル
- CSVファイル(右記の条件を満たしているもの)
- Windowsアドレス帳ファイル

1 iR宛先表編集ツールを起動していないときは、デスクトップの[スタート]メニューをクリックし、[プログラム](Windows XPのときは[すべてのプログラム])→[Canon iR宛先表編集ツール]→[Canon iR宛先表編集ツール]の順に選びます。

[iR宛先表編集ツール]画面が開きます。



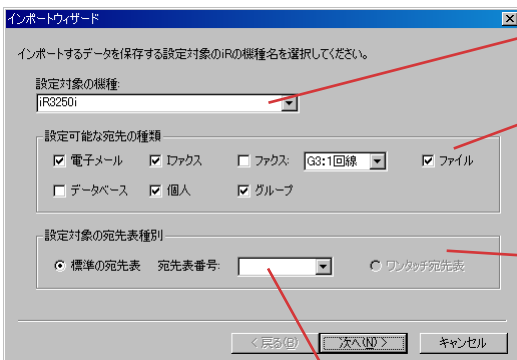
2 ツールバーの (開く)をクリックします。(または、[ファイル]メニューの[開く]を選びます)



ここでファイルを選びます。

[iR専用アドレスブックファイル]、[CSVファイル]、[Windowsアドレス帳]のどれかを選びます。iR専用アドレスブックファイルを開くときは、[iR専用アドレスブックファイル]を選んでください。

3 開きたいWindowsアドレス帳ファイルを選んで、[開く]をクリックします。



標準の宛先表を選んだときは、宛先表の番号も選びます。

これから開いて編集し保存する宛先表を、どの機種に読み込むかを選びます。

設定したい宛先の種類にチェックマークをつけます。上の欄で選んだ機種で設定できないものは選べません。

これから開いて編集し保存する宛先を、ワンタッチ宛先表に読み込むか、標準の宛先表(ワンタッチ宛先表ではない宛先表)に読み込むかを選びます。上の欄で選んだ機種で設定できない宛先表は選べません。

**【iR専用アドレスブックファイルについて】**

iRシリーズの宛先表をリモートUIからエクスポートしたファイル。専用フォーマットで、拡張子は「.abk」です。

**【CSVファイルについて】**

つぎの条件を満たしたCSVファイルを開きます。

- 1つの宛先が、1行に記述され、項目と項目がカンマ(,)で区切られたテキストファイル。
- 1行の項目は20個まで。(21個め以降の項目は読み込まれません)
- 1行は、カンマ(,)を含めて1000バイト以内(半角で1000字以内、全角で500字以内)。
- 項目の順番は、ファイルを開くときに、対応付けの操作で並べかえることができます。
- 個人、グループの宛先にすることはできません。

**【Windowsアドレス帳ファイルについて】**

Windowsアドレス帳ファイルは、Outlook Expressなどで使われる、拡張子が「.wab」のアドレス帳ファイルです。連絡先のつぎの項目を読み込むことができます。(グループを読み込むことはできません)

- 表示名
- 電子メールアドレス
- 自宅電話番号
- 自宅ファクス
- 勤務先電話番号
- 勤務先ファクス

読み込み先の宛先の種類は、[電子メール]、[ファクス]、[ファクス]のみです。

複数の電子メールアドレスがあるとき(標準メールアドレス以外のアドレスがあるとき)→「Windowsアドレス帳の[標準以外の電子メールアドレス]」(→15ページ)

## CSVファイル・Windowsアドレス帳ファイルを開くとき

[次へ]をクリックします。

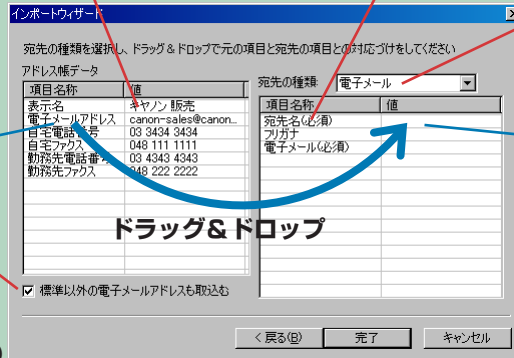
ドラッグ&ドロップ(①の場所でマウスのボタンを押し、②まで動かして、ボタンを離す)をくり返して、読み込みたいアドレス帳データを、すべて項目名称に対応づけます。

これから開くファイルの1行めの内容が表示されます。

前の画面の[設定可能な宛先の種類]で選んだ項目が表示されます。

①宛先に使いたい項目を、

Windowsアドレス帳ファイルを開くときだけ表示されます。「Windowsアドレス帳の[標準以外の電子メールアドレス]」(→15ページ)をご覧ください。



前の画面で選んだ宛先の種類が表示されます。

②対応する項目名称の右側へ、ドラッグ&ドロップする。

ドラッグ&ドロップ

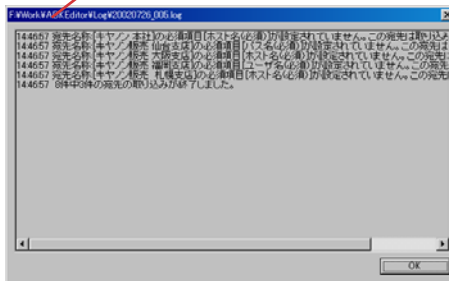
4

[完了]をクリックします。

取り込み結果の画面が表示されます。

ファイルを開くときにエラーが発生すると、この画面に表示されます。

ログファイルが保存される場所

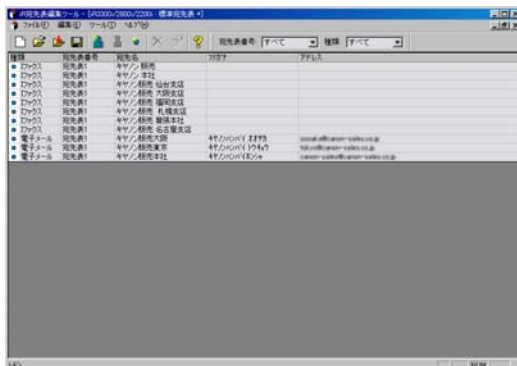


取り込み結果は、ログファイルに保存されます。

エラーのチェック内容、ログファイル→「ファイルを開くときのエラー」16ページ

[OK]をクリックすると閉じます。

[iR宛先表編集ツール]画面に、ファイルの内容が表示されます。



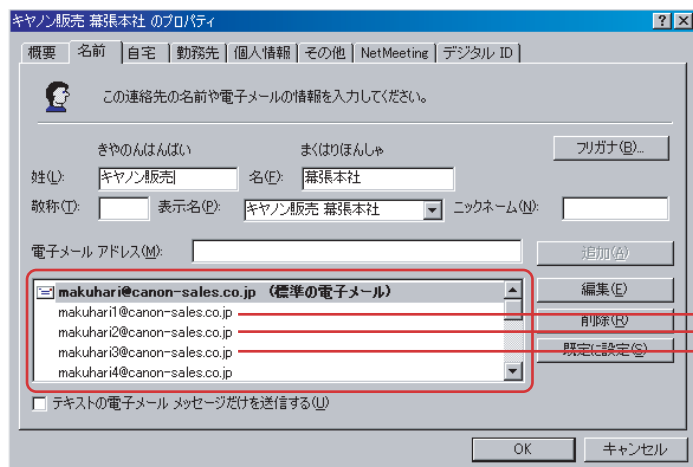
この画面で宛先表を編集します。

▼ 次ページへ続く

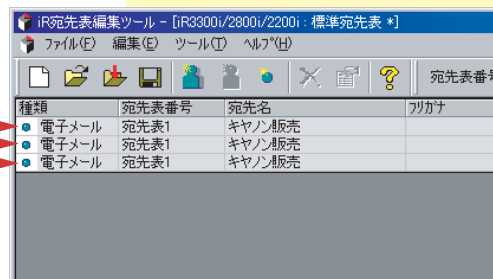
## Windowsアドレス帳の[標準以外の電子メールアドレス]

[標準以外の電子メールアドレスも取り込む]にチェックをつけてWindowsアドレス帳ファイルを開くと、「標準の電子メール」以外にもアドレスが登録されたデータを読み込んだときに、それらのアドレス1件につき、1件ずつの宛先が作られます。宛先名などの項目はすべて同じで、電子メールアドレスだけがちがう宛先になります。

ただし、10件以上の電子メールアドレスが登録されていても、宛先は10件までしか作られません。



Windowsアドレス帳の画面



iR宛先表編集ツールの編集画面

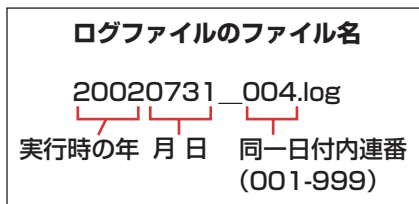
# ファイルを開くときのエラー

ファイルから読み込むとき、追加インポートするときは、つぎの点がチェックされ、文字数以外のエラーが100件を超えると、読み込みは中止されます。

- 宛先の件数
- 必須項目が入力されているか
- 項目ごとの文字数が最大文字数を超過していないか
- 項目ごとの文字種別

## 取り込み結果のログファイル

これらのエラーなどの記録(ログ)は、ログ用フォルダに、つぎのファイル名のログファイルとして保存されます。

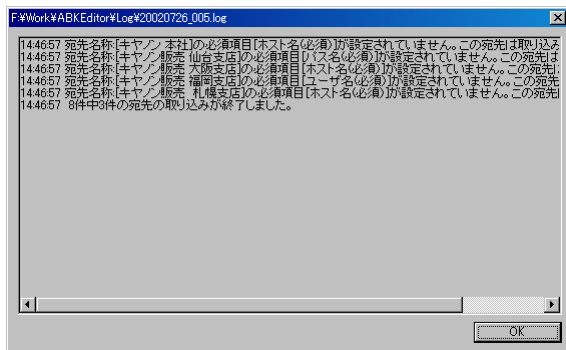


30日経過したログファイルは、iR宛先表編集ツールを起動したときに削除されます。例えば、2002年7月31日に起動すると、2002年7月1日以前のログファイルが削除されます。

保存日数は、[標準]画面の[その他]タブで変更できます。(→「宛先の標準設定」10ページ)

## 取り込み結果の画面

ログファイルの内容は、画面にも表示されます。



→「メッセージ一覧」

→「エラーによって読み込まれなかったデータを読み込みたい。」

同一日付内連番は、999を超えると、001に戻り、古いログファイルに上書きされます。

## ② 編集する

宛先表には、新しい宛先を追加したり、編集したりすることができます。  
また、他のファイルに入っている宛先を読み込んで追加したり、他のアプリケーションで開いたファイルからコピーした宛先を貼り付けることができます。

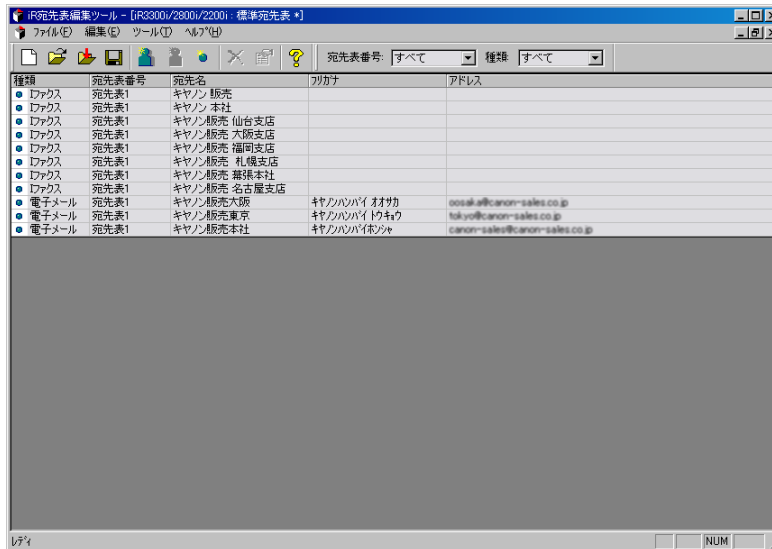
|  |                    |             |
|--|--------------------|-------------|
| ② 編集して、  | 画面・メニュー            |             |
|  | 新しい宛先を追加する         | 宛先を編集(変更)する |
| 新しいグループ・個人を追加する  | 宛先を削除する            |             |
| 他のファイルから読み込む(追加インポート)                                  |                    |             |
| iR専用アドレスブックファイル<br>CSVファイル(表計算データ)<br>Windowsアドレス帳ファイル |                    |             |
| ファイルを開くときのエラー  | 機種による入力項目の違い       |             |
| 検索・置換  | 他のファイルからコピー・貼り付けする |             |

# 宛先の表示を切り替える

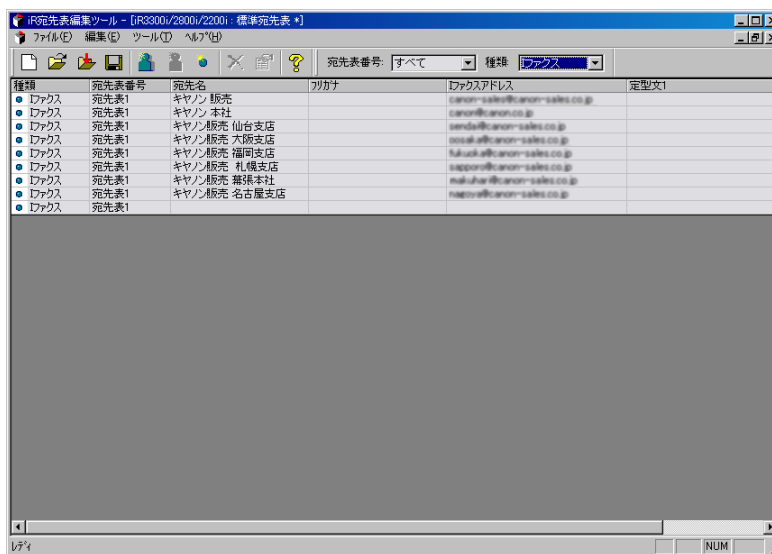
[ワンタッチ宛先表]と[標準の宛先表データ](ワンタッチ宛先表以外の宛先表)を同時に作成することはできません。

宛先ツールバーの[宛先表番号]と[種類]で、表示する宛先を選ぶことができます。


**[宛先表番号]と[種類]のどちらも[すべて]を選んだとき**  
すべての宛先が表示されます。



**[宛先表番号]で[すべて]を、[種類]で[ファクス]を選んだとき**  
宛先のうち、「[ファクス]」のものだけが表示されます。



# 新しい宛先を追加する

- 1** ツールバーの  (新規宛先) をクリックするか、[ツール]メニューの [新規宛先] を選びます。



- 2** 追加する宛先の種類を選んで、[OK] をクリックします。  
選んだ宛先の種類によって画面が開きます。

電子メール(→22ページ) | ファクス(→22ページ)  
ファクス(→23ページ) | データベース(→23ページ)  
ファイル(→23ページ)


- 3** 入力、選択、編集などを行って、[OK] をクリックします。

**【追加した宛先の宛先表番号】**  
1行上の宛先と同じ宛先表番号になります。

**【追加した宛先のワンタッチ番号】**  
1つ上の宛先の次のワンタッチ番号になります。

# 新しいグループ・個人を追加する

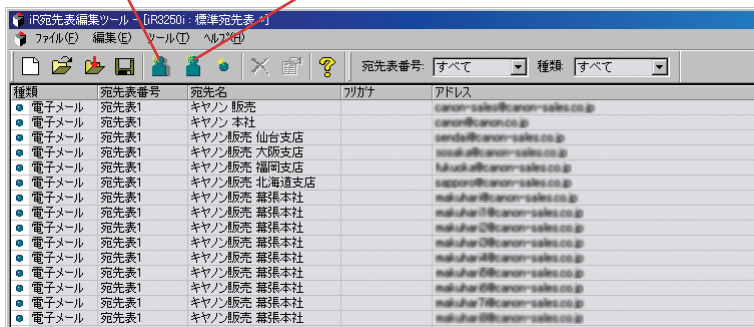
宛先をまとめてグループや個人として登録することができます。グループや個人は、あらかじめそこに登録する宛先を追加してから登録(追加)してください。

**1** グループを追加するときはツールバーの  (新規グループ)をクリックするか、[ツール]メニューの[新規グループ]を選びます。

個人を追加するときはツールバーの  (新規個人)をクリックするか、[ツール]メニューの[新規個人]を選びます。

新規グループ

新規個人



グループ・個人の画面が開きます。

グループ(→24ページ) 個人(→25ページ)

**2** 入力、選択、編集などを行って、[OK]をクリックします。

## 【グループ】

「グループ」とは、複数の宛先に一度に送信する操作などができるように、すでに登録されている複数の宛先を1つの宛先に登録する機能です。グループで登録する電子メールやファクス、個人などの宛先をあらかじめ登録してから、グループに登録してください。最大登録件数は、機種によって異なります。

## 【個人】

「個人」とは、1つの宛先に電子メール、ファクスなど、種類のちがう宛先を登録する機能です。登録する宛先をあらかじめ作成してから、個人に登録してください。

# 宛先を編集(変更)する

宛先の項目には、宛先表画面のセルで編集できる項目と、宛先の入力・編集画面を表示しないと編集できない項目があります。

グループ・個人も同じように編集できます。

**必須** マークの項目は必ず入力してください。

**選択** マークの項目は、選択肢から選ぶ項目です。

## 宛先表画面のセルで編集できる項目

| 電子メール               | 1ファクス               | ファクス              | データベース           | ファイル               |
|---------------------|---------------------|-------------------|------------------|--------------------|
| 宛先名                 | 宛先名                 | 宛先名               | 宛先名              | 宛先名                |
| フリガナ                | フリガナ                | フリガナ              | フリガナ             | フリガナ               |
| ワンタッチ名称*1           | ワンタッチ名称*1           | ワンタッチ名称*1         | ワンタッチ名称*1        | ワンタッチ名称*1          |
| 電子メールアドレス <b>必須</b> | 1ファクスアドレス <b>必須</b> | ファクス番号 <b>必須</b>  | ホスト名 <b>必須</b>   | ホスト名 <b>必須</b>     |
|                     | 定型文1*2              | Fコード              | フォルダID <b>必須</b> | パス                 |
|                     | 定型文2*2              | パスワード             | FU名              | プロトコル <b>選択</b> *2 |
|                     |                     | スピード <b>選択</b> *2 |                  | ユーザ名               |
|                     |                     | 国際送信 <b>選択</b> *2 |                  | パスワード*2            |

\*1 ワンタッチ宛先表の場合

\*2 [種類]、[宛先表番号]、[ワンタッチ番号]と\*2のセルは、切り取り、コピー、貼り付けができません。

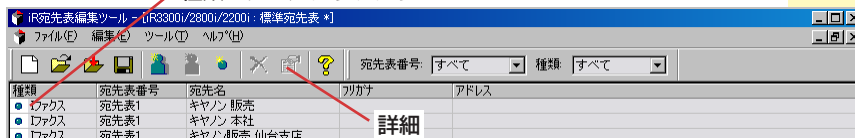
## 宛先表画面のセルで編集(変更)する


- 編集したい項目(セル)をダブルクリックします。  
(または、編集したい項目(セル)をクリックして、セルが選ばれた状態でEnterキーを押します)
- 編集して、Enterキーを押します。  
編集した内容は確定して、次のセルが選ばれた状態になります。

## 宛先の入力・編集画面で編集(変更)する

- 編集する宛先の[種類]をダブルクリックします。

種類をダブルクリックする



(または、編集する宛先の行をクリックして選び、 (詳細)をクリックします)

選んだ宛先の種類によって画面が表示されます。

- 電子メール(→22ページ) 1ファクス(→22ページ)
- ファクス(→23ページ) データベース(→23ページ)
- ファイル(→23ページ)
- グループ(→24ページ) 個人(→25ページ)

- 入力、選択、編集などを行って、[OK]をクリックします。

# 宛先の入力・編集画面

## 電子メールの画面

### 標準の宛先表

宛先名を入力します。**必須**

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

ワンタッチ名称を入力します。

電子メールアドレスを入力します。**必須**

アクセス番号を入力します。  
(標準の宛先表のみ) **機種**

**必須** マークの項目は必ず入力してください。

### ワンタッチ宛先表

## Iファクスの画面 **機種**

### 標準の宛先表

宛先名を入力します。**必須**

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

ワンタッチ名称を入力します。

モード[Simple]か[Full]を選びます。**機種**

Iファクスアドレスを入力します。**必須**

定型文1を入力します。**機種**

定型文2を入力します。**機種**

サーバを経由するときは、チェックマークをつけます。**機種**

相手先のIファクスの設定内容を指定します。**機種**

アクセス番号を入力します。  
(標準の宛先表のみ) **機種**

**機種** マークの項目は、機種によっては入力できない項目です。

**必須** マークの項目は必ず入力してください。

### ワンタッチ宛先表

## ファクスの画面 機種

### 標準の宛先表

宛先名を入力します。 必須

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

ファクス番号を入力します。 機種

Fコードを入力します。 機種

パスワードを入力します。

送信スタートスピードを選びます。

[国内送信]か[国際送信]を選びます。

機種 マークの項目は、機種によっては入力できない項目です。

必須 マークの項目は必ず入力してください。

ワンタッチ名称を入力します。 必須 機種 ワンタッチ宛先表

アクセス番号を入力します。  
(標準の宛先表のみ) 機種

ECM送信するかどうかを選びます。

## データベースの画面 機種

宛先名を入力します。 必須

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

ホスト名を入力します。 必須

フォルダIDを入力します。 必須

必須 マークの項目は必ず入力してください。

アクセス番号を入力します。 FU名を入力します。  
(標準の宛先表のみ) 機種

## ファイルの画面

### 標準の宛先表

宛先名を入力します。 必須

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

プロトコルとして、[FTP]、[Windows(SMB)]、[NetWare(IPX)]のどれかを選びます。 機種 機種によっては変更できないものがあります。

ホスト名を入力します。 機種 [プロトコル]で[Windows(SMB)]を選んだときは、[ホスト名]はIPアドレスの形式か、半角英数字だけで、1文字目が英字の名称にしてください。 必須

パスを入力します。

ユーザ名を入力します。

パスワードを入力します。

必須 マークの項目は必ず入力してください。

ワンタッチ名称を入力します。 必須 機種 ワンタッチ宛先表

アクセス番号を入力します。  
(標準の宛先表のみ) 機種

## グループの画面

## 標準の宛先表

アクセス番号を入力します。  
(標準の宛先表のみ) **機種**

宛先番号を選びます。

宛先名を入力します。 **必須**

宛先名のフリガナを半角文字で入力します。

クリックすると、[宛先一覧]画面が表示されるので、このグループに登録する宛先をクリックして[OK]をクリックしてください。

宛先を削除したいときは、削除する宛先のセルをクリックして選び、[削除]をクリックしてください。

グループに登録されている宛先が表示されます。

送信と同時にボックスに保存するときは、ボックス番号を選んでからチェックマークをつけてください。

送信と同時に印刷もするときは、チェックマークをつけます。

**機種** マークの項目は、機種によっては入力できない項目です。

**必須** マークの項目は必ず入力してください。

ワンタッチ名称を入力します。 **必須**

ワンタッチ宛先表

## 【グループ】

「グループ」とは、複数の宛先に一度に送信などの操作ができるように、すでに登録されている複数の宛先を1つの宛先に登録する機能です。グループで登録する電子メールやファクス、個人などの宛先をあらかじめ登録してから、グループに登録してください。最大登録件数は、機種によって異なります。

複数の宛先を選ぶときは、ShiftキーかCtrlキーを押しながら選びます。


宛先の種類を選びます。

## [宛先一覧]画面



# 宛先を削除する

宛先はつぎのようにして、削除することができます。  
グループ・個人も同じようにして削除できます。

- 1 削除する宛先の行のセルをクリックして選び、 (削除)をクリックします。



- 2 [はい]をクリックします。

# 他のファイルから宛先を読み込む(追加インポート)

編集している宛先表に、ファイルとして保存されている宛先を読み込んで、追加することができます。

ファイルの中の宛先はすべてまとめて読み込まれます。


エラーがある宛先は読み込まれないことがあり、元に戻せなくなるので、追加インポートする前に編集中の宛先を保存しておくことをおすすめします。

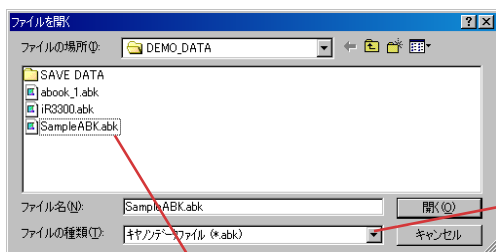
つぎの3種類のファイルを読み込むことができます。

iR専用アドレスブックファイル

CSVファイル(右記の条件を満たしているもの)

Windowsアドレス帳ファイル

- 1 ツールバーの  (追加インポート)をクリックします。  
(または、[ファイル]メニューの[追加インポート]を選びます)

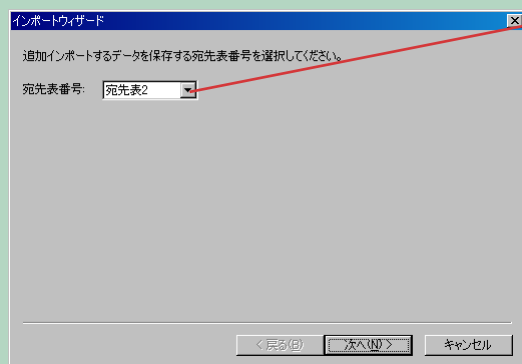


[キヤノンデータファイル]、[CSVファイル]、[Windowsアドレス帳]のどれかを選びます。  
iR専用アドレスブックファイルを開くときは、[キヤノンデータファイル]を選んでください。

ここでファイルを選びます。

- 2 読み込みたいファイルを選んで、[開く]をクリックします。

標準の宛先表(ワンタッチ宛先表でない宛先表)に読み込んだとき  
[インポートウィザード]画面が開きます。



追加する宛先をどの宛先表にするかを選びます。

[宛先表番号]を選んで、[次へ]をクリックします。

**【iR専用アドレスブックファイルについて】**

iRシリーズの宛先表をリモートUIからエクスポートしたファイル。専用フォーマットで、拡張子は「.abk」です。

**【CSVファイルについて】**

つぎの条件を満たしたCSVファイルを開きます。

- 1つの宛先が、1行に記述され、項目と項目がカンマ(,)で区切られたテキストファイル。

- 1行の項目は20個まで。(21個め以降の項目は読み込まれません)

- 1行は、カンマ(,)を含めて1000バイト以内(半角で1000字以内、全角で500字以内)。

- 項目の順番は、ファイルを開くときに、対応付けの操作で並べかえることができます。

- 個人、グループの宛先にすることはできません。

**【Windowsアドレス帳ファイルについて】**

Windowsアドレス帳ファイルは、Outlook Expressなどで使われる、拡張子が「.wab」のアドレス帳ファイルです。

連絡先のつぎの項目を読み込むことができます。(グループを読み込むことはできません)

表示名  
電子メールアドレス  
自宅電話番号  
自宅ファクス  
勤務先電話番号  
勤務先ファクス

読み込み先の宛先の種類は、[電子メール]、[ファクス]、[ファクス]のみです。

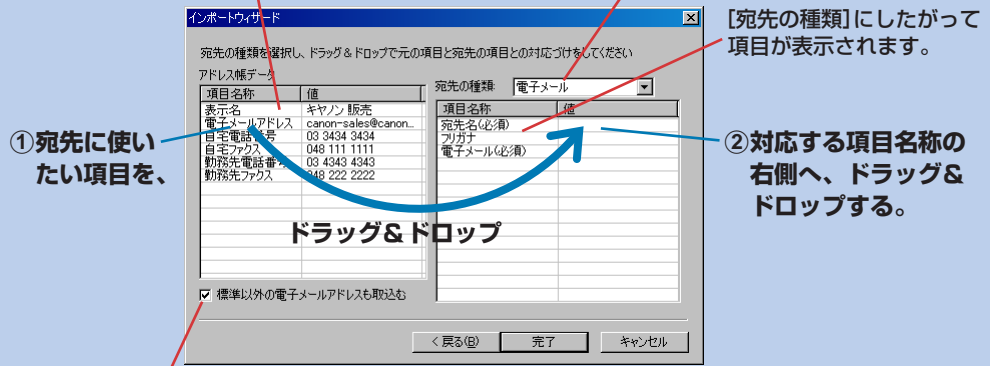
複数の電子メールアドレスがあるとき(標準メールアドレス以外のアドレスがあるとき) → 「Windowsアドレス帳の[標準以外の電子メールアドレス]」(→ 15ページ)

## CSVファイル・Windowsアドレス帳ファイルを開くとき

ドラッグ&ドロップ(①の場所でマウスのボタンを押し、②まで動かして、ボタンを離す)をくり返して、読み込みたいアドレス帳データを、すべて項目名称に対応づけます。

これから開くファイルの1行目の内容が表示されます。

どの種類の宛先として読み込むか選んでください。



Windowsアドレス帳を開くときにだけ表示されます。

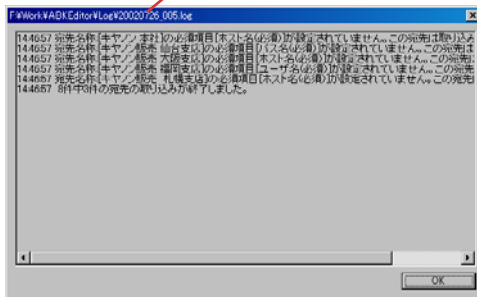
「Windowsアドレス帳の【標準以外の電子メールアドレス】」(→15ページ)をご覧ください。

### 3 [完了]をクリックします。

取り込み結果の画面が表示されます。

ファイルを開くときにエラーが発生すると、この画面に表示されます。

ログファイルが保存される場所

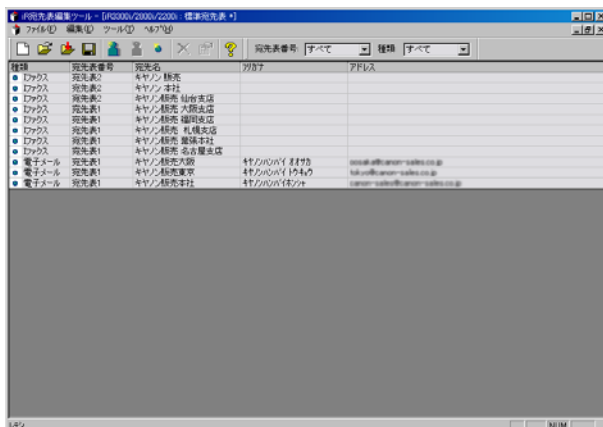


取り込み結果は、ログファイルに保存されます。

エラーのチェック内容、ログファイル→「ファイルを開くときのエラー」16ページ

[OK]をクリックすると閉じます。

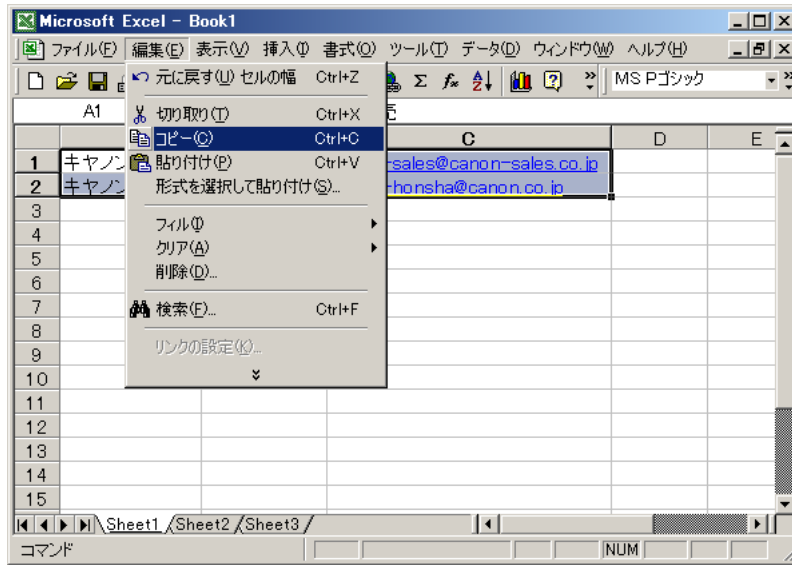
[iR宛先表編集ツール]画面に、読み込んだ宛先が追加されます。



# 他のファイルからコピー・貼り付けする

他の表計算ソフトなどのアプリケーションで開いたデータをコピーして、宛先表画面の「宛先表画面のセルで編集できる項目」(→21ページ)に貼り付ける(ペーストする)ことができます。

## 例(Excelの画面)



- 1 他のアプリケーションで、コピーする部分を選び、[編集]メニューの[コピー]などのコピーのコマンドを選びます。
- 2 iR宛先表編集ツールの宛先表のどこに貼り付けたいかを選び、[編集]メニューの[貼り付け]を選びます。

# 検索と置換

## 検索

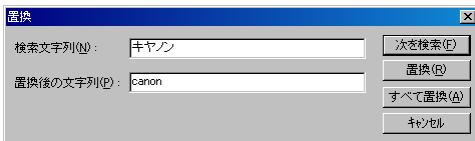
- 1 [編集]メニューの[検索]を選びます。



- 2 [検索文字列]に検索する文字を入力し、[次を検索]をクリックします。  
検索した文字が見つかったら、そのセルが反転表示されます。  
同じ文字の検索を続けるときは、[次を検索]をクリックしてください。  
全体を検索して、それ以上、検索した文字がなかったときは、[検索が終了しました。]と表示されます。

## 置換

- 1 [編集]メニューの[置換]を選びます。



- 2 [検索文字列]に検索する文字を入力し、[置換後の文字列]に検索した文字をどんな文字に置き換えるかを入力し、[次を検索]をクリックします。  
検索した文字が見つかったら、そのセルが反転表示されます。  
検索された文字を置換して、つぎを検索するときには、[置換]をクリックしてください。  
置換しないで、つぎの検索をするときは、[次を検索]をクリックしてください。  
検索した文字がなかったときは、[検索が終了しました。]と表示されます。  
ひとつずつ検索した文字を表示しないで、いちどに全部置換したいときは、[すべて置換]をクリックします。

## ③保存する

iR宛先表編集ツールで編集した宛先表は、iR専用アドレスブックファイル(拡張子は「.abk」)として保存することができます。他のファイル形式で保存することはできません。

**③保存する。** iR専用アドレスブックファイル


**終了する**

# 保存する

iR宛先表編集ツールで編集した宛先表は、iR専用アドレスブックファイルとして保存することができます。他のファイル形式で保存することはできません。

保存する方法には、[上書き保存]と[名前を付けて保存]のふたつがあります。

## 元のiR専用アドレスブックファイル、直前に保存したiR専用アドレスブックファイルに上書きして保存するとき

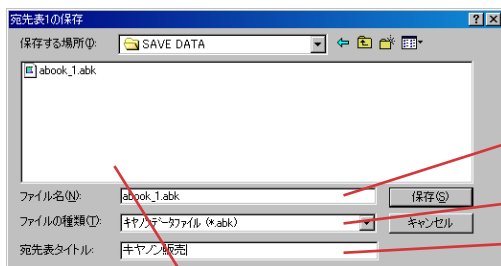
- 1 ツールバーの  (保存)をクリックするか、[ファイル]メニューの[上書き保存]を選びます。

編集中の宛先表が、元のファイル、直前に保存したファイルに上書きして保存されます。

CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルを開いて編集した宛先表を、はじめて保存するときは、[名前を付けて保存]と同じ処理になります。つぎの「ファイル名を変えて新しいiR専用アドレスブックファイルに保存したいとき」の操作をしてください。

## ファイル名を変えて新しいiR専用アドレスブックファイルに保存したいとき

- 1 [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]を選びます。



ここでファイルを選びます。

新しいファイルのファイル名を入力します。

変更できません。

標準の宛先表を保存するときに入力できます。iRのリモートUIで[宛先表名]として表示されます。機種によっては表示されません。

- 2 [ファイル名]と[宛先表タイトル]を入力して、[保存]をクリックします。

([宛先表タイトル]は、機種によっては入力できません)

宛先表番号の数だけ、くり返し画面が表示されるので、[ファイル名]と[宛先表タイトル]を入力して、[保存]をクリックしてください。

編集中の宛先表が、入力したファイル名のファイルに保存されます。

### 【宛先表タイトル(宛先表名)】

iRのリモートUIで[宛先表名]として表示されます。標準の宛先表を保存するときに入力できます。機種によっては入力できません。



宛先表名

## 困ったときは

**編集した宛先をiRに[上書き]でインポートしたら、設定していた定型業務ボタンが消えた。(iR 1600/2000/3250を除く)**

iRに宛先表を[上書き]でインポートすると、以前の関連付けがリセットされるので、定型業務ボタンが消えます。改めてiR本体の操作部で定型業務ボタンを設定してください。

**編集した宛先をiRに[上書き]でインポートしたら、うまく受信転送ができなくなった。**

iRに宛先表を[上書き]でインポートすると、宛先の内部管理番号が変更され、以前の関連付けがリセットされてしまいます。インポートした後で、改めて転送設定を設定しなおしてください。

**宛先表のコピー・貼り付けができない。**

コピー・貼り付けできるのは、テキスト編集項目だけです。選択式の項目はコピー・貼り付けできません。(→「宛先表画面のセルで編集できる項目」21ページ)

**LDAPの宛先を読み込みたいのですが？**

iR宛先表編集ツールは、LDAPを取り込むことはできません。

**Lotus NotesやMicrosoft Exchangeのアドレス帳を利用したいのですが？**

iR宛先表編集ツールのCDに入っているAddressBookConversionUtilityは、Lotus NotesやMicrosoft Exchangeのアドレス帳データを取り込んで、iR専用アドレスブックファイルに変換します。書き出したabkファイルを、再度iR宛先表編集ツールで読み込んでください。

**エラーによって読み込まれなかったデータを読み込みたい。**

エラーが起きないように読み込む元のファイルの内容を書きかえてから、宛先の重複を避けるため、まず、宛先表を開く操作や追加インポートの操作をする前の状態に戻して、再度、読み込んでください。

ファイルを開くときにエラーが起きた場合は、開いた宛先表を保存しないで開き直してください。

ファイルを追加インポートするときにエラーが起きた場合は、編集中の宛先表を保存せずに閉じて、追加インポートする前に保存したファイルを開いてください(このため、追加インポートをするときは、直前に宛先表を保存しておいてください)。宛先表を元の状態に戻したら、修正したファイルを追加インポートしてください。

# メッセージ一覧

ファイルを開くときや追加インポートするときに、取り込み結果の画面に表示されるメッセージです。

**宛先表タイトル部分が最大長を超えています。最大長を超えた文字は無視します。**

原因⇒宛先表のタイトル(宛先表1などにつけるタイトル)には、半角16文字(全角8文字)までしか入力できません。この字数を超えた部分は削除して読み込まれます。

**宛先名称:[○○]に対応していない宛先の種類がメンバーになっています。このメンバーは取込みません。**

原因⇒この宛先は、個人など、選んだ機種に入力できない種類の宛先だったので、読み込まれませんでした。登録できる宛先の種類は機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**宛先名称:[○○]の項目:[○○]に対応しない値が入力されています。この項目は取込みません。**

原因⇒この項目に入力できない数値が入っていたので、読み込みませんでした。

**宛先名称:[○○]の項目:[○○]に対応しない文字が入力されています。この項目は取込みません。**

原因⇒この項目に入力できない文字が入っていたので、読み込みませんでした。Fコードに英字や全角文字が入っていたときなどに表示されます。

**宛先名称:[○○]の項目:[○○]は最大長を超えています。最大長を超えた文字は無視します。**

原因⇒この項目は、登録できる文字数より文字数が多かったので、登録できる文字数を超えた分は読み込まれませんでした。登録できる文字数は、機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**宛先名称:[○○]の必須項目:[○○]が設定されていません。この宛先は取込みません。**

原因⇒必ず入力しなければいけない項目が入力されていなかったため、この宛先は読み込まれませんでした。必ず入力しなければいけない項目は機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**宛先名称:[○○]の必須項目:[○○]に対応しない文字種別が入力されています。この宛先は取込みません。**

原因⇒必ず入力されなければいけない項目に、入力できない文字が入っていたので、この宛先は読み込まれませんでした。電子メールアドレスに全角文字などが入っているときに表示されます。入力が必要な項目、その項目に入力できる文字は機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**宛先名称:[○○]は対応していない宛先の種類です。この宛先は取込みません。**

原因⇒宛先の種類が指定した機種に登録できないものだったので、この宛先は読み込まれませんでした。登録できる宛先の種類は機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**宛先名称:[○○]は不正なフォーマットです。このデータは取込みません。**

原因⇒読み込もうとしたファイルが、iR専用アドレスブックファイル、CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルのうちのどれでもなかったため、このファイルは読み込まれませんでした。

**1行あたりの文字が1000バイトを超えています。超過したデータは無視します。**

原因⇒ひとつの宛先の内容が合計1000バイト(半角で1000字、全角で500字)を超えています。この宛先の1000バイトを超えた部分は読み込まれません。

**エラー件数が100件を超えました。取込みを中止します。**

原因⇒エラー件数が100件を超えたため、それ以降の宛先は読み込まれませんでした。エラーが100件を超えるまでの分は読み込まれています。

**○○件中○○件の宛先の取り込みが終了しました。**

原因⇒読み込みが終了しました。

**すでに宛先が登録されているワンタッチ/短縮番号に登録はできません。宛先名称:[○○]は○○に登録しました。**

原因⇒読み込んだ宛先のワンタッチ/短縮番号が、すでに使われている番号だったので、ワンタッチ/短縮番号を変えて読み込みました。元の番号に戻したいときは、まず、宛先表編集画面で、元の番号を使っている宛先を探して、その番号を変えてください。

**登録できる宛先の最大値を越えています。[最大:○○] 最大値を超えた宛先は無視します。**

原因⇒宛先の件数が、指定した機種種のiRに登録できる件数を超えました。登録できる件数を超えた分は読み込まれませんでした。登録できる件数は機種によって異なります。(→機種差一覧.pdf)

**必須項目:[宛先名]が設定されていません。この宛先は取込みません。**

原因⇒宛先名が入力されていなかったため、この宛先は読み込まれませんでした。

---

**ファイルのフォーマットが異なるため、読み込めません。(504)**

読み込もうとしたファイルが、iR専用アドレスブックファイル、CSVファイル、Windowsアドレス帳ファイルのうちのどれでもないか、読み込もうとしたファイルが他のアプリケーションで編集中だったため、読み込めませんでした。

## 索引

## A

.abk 13, 27, 31

## C

.csv 13, 27

CSVファイル 13

－を開く 13

－を読み込む(追加インポート) 27

## I

iR宛先表編集ツールヘルプ 8

iR宛先表編集ツール

iRシリーズの機種 3

－による違い 4

iR専用アドレスブックファイル  
13

－を開く 13

－を読み込む(追加インポート) 27

Iファクス 19, 21

－の標準設定 10

## L

LDAP 33

## P

PDF 6

## W

.wab 13, 27

Windowsアドレス帳ファイル  
13

－を開く 13

－を読み込む(追加インポート) 27

## ア

宛先

－を削除する 26

－を追加する 19

－を編集する 21

宛先ツールバー 8

宛先表

－を新規作成する 12

－を開く 13

宛先表タイトル 32, 34

宛先表名 32

宛先名称 34

アンインストール 5

## イ

インストール 5

## ウ

上書き保存 8, 32

## エ

エラー 16, 35

エラーチェック 8

## キ

機種差一覧.pdf 4

機種による違い 4

起動 7

切り取り 8

## ク

グループ

－を削除する 26

－を追加する 20

－を編集する 21

## ケ

検索 8, 30

## コ

個人

－を削除する 26

－を追加する 20

－を編集する 21

コピー 8, 29, 33

## サ

削除

iR宛先表編集ツールを－する  
5

宛先を－する 26

グループを－する 26

個人を－する 26

## シ

終了 7, 8

受信転送 33

新規宛先 8

新規グループ 8, 20

新規個人 8, 20

新規作成 8

## セ

設定 9

## ソ

その他

－の標準設定 10

## タ

対応づけ 14

## チ

置換 8, 30

**ツ**

- ツール 8
- ツールバー 8
- 追加
  - 宛先を-する 19
  - グループを-する 20
  - 個人を-する 20
- 追加インポート 8

**テ**

- 定型業務ボタン 33
- データベース 19, 21
- 電子メール 19, 21
- 転送 33

**ト**

- 閉じる 8

**ナ**

- 名前を付けて保存 8, 32

**ハ**

- バージョン情報 8
- 貼り付け 8, 29, 33

**ヒ**

- 必要な環境 3
- 表示 18
- 標準以外の電子メールアドレス
  - 28, 15
- 標準機種選択 9
- 標準設定 8
- 標準ツールバー 8
- 標準の電子メール 15
- 開く 8, 11

**フ**

- ファイル 8, 19, 21, 35
  - の標準設定 10
  - を開く 13
- ファクス 19, 21
  - の標準設定 10
- フォーマット 35

**へ**

- ヘルプ 6, 8
- 編集 8
  - 宛先を-する 21
  - 画面 8
  - グループを-する 21
  - 個人を-する 21
- 編集する 17

**ホ**

- 保存 32
  - iR専用アドレスブックファイル-する 31

**メ**

- メニュー 8
- メニューバー 8

**モ**

- 元に戻す 8

**ロ**

- ログファイル 14, 16, 28
  - の保存期間 10

**ワ**

- ワンタッチ/短縮番号 35